

▼平成30年豪雨時の本川馬橋付近



二級河川本川水系は、平成30年と令和3年の豪雨で2度にわたり大きな浸水被害が発生しました。このような被害に対応するため、令和3年11月に施行された「特定都市河川浸水被害対策法等の一部を改正する法律」（令和3年法律第31号。通称「流域治水関連法」）の新たな法的枠組みのもとで流域治水対策を加速させていくため、令和4年7月25日に、法改正後、二級河川で全国初となる特定都市河川流域の指定が行われました。

このことにより、河川整備や内水対策の取り組みを加速し、本川流域の治水対策を計画的、効果的かつ早期に進めるため、河川管理者や自治体、

平成30年、令和3年豪雨災害 本川水系対策計画の概要

たけはら
災害復旧かわら版
復旧から防災・減災・地域強靱化に向けて
発行：竹原市建設部
第16号

▶新設統合橋「須方橋」



▶完成した築堤・護岸



広島県 竹原市 本川流域水害対策計画 水害対策の進捗状況

関係者が一体となって「本川流域水害対策計画」に基づく水害対策を多層的に講じること、本川流域の早期の治水安全度の向上を目指しているところです。

▼第1回本川流域治水協議会



地元代表など本川流域の関係者が参画した「流域水害対策協議会」を令和4年9月に設置し、関係者の協働による「本川流域水害対策計画」を策定しました。

この計画のもと、

ポンプ場完成イベント・施設見学会の様子



本川流域水害対策計画の内水氾濫対策として竹原町大王地区で建設していた、大王雨水排水ポンプ場が竣工し、6月13日に完成イベントが開催されました。ポンプ場の竣工により、地域の雨水排水能力は大きく増強され、浸水被害の軽減が期待されます。引き続き大王雨水調整地の整備など、本川流域の水害対策を進めてまいります。

竹原市 竹原町大王地区 大王雨水排水ポンプ場竣工

広島県において本川の河川改修事業が本川上流部で進められており、そのうち、河川拡幅予定の一部区間、140mの築堤と護岸が完成しました。現在、既存の幅員が狭隘な2橋を統合し新たに拡幅・新設する「須方橋」の下部工事が進められています。

お知らせ

かわら版に掲載しきれない情報については、市のホームページを通じて情報提供しています。本紙とあわせてよろしくお願いいたします。



▲通常時の在屋川と長善寺下橋



▲泥上掘削機による浚渫作業



▲災害時の在屋川(長善寺南)



▲豪雨時の毛木遊水池

竹原市 吉名町毛木地区 遊水池浚渫工事（1期）

先の豪雨で大きな浸水被害となった吉名町毛木地区において、遊水池の浚渫工事（1期）を実施しました。令和7年度も継続して2期工事を実施しています。このことにより、遊水池貯水量の増大と効率的な排水ポンプの運転により、浸水被害の軽減を図ります。



▲山田川と二級河川賀茂川合流点の改修工事を施工しています。

山田川の河川の拡幅と、合流点の河川線形を改良することにより、流下機能の向上と速やかな排水による浸水被害の軽減を目指します。

▼在屋川下流部の河川改修の状況です。二級河川賀茂川合流点付近の河川狭隘箇所を解消し、河川の流下機能の向上を図ります。今後は、上流の橋梁（長善寺下橋）架け替え工事を予定しています。



東野町在屋川・山田川の下流域では、平成30年、令和3年での大きな水害が発生しました。この水害を受けて、令和4年から山田川と在屋川の下流域での現況調査や氾濫解析などに基づく水害対策を検討し、説明会などを行ってきました。令和5年から河川改修やポンプ場整備、橋梁架け替えなどの対策を進めています。

竹原市 東野地区浸水対策事業

令和7年3月開通イベント



の開通により、忠海学園への安全な通学路が確保されるだけでなく、円滑な避難行動や緊急物資の輸送など、避難所としての機能向上も期待されます。

平成27年より事業を始めていた、忠海中学校線道路改良事業について、令和7年3月に完成するとともに、新たに市道忠海学園線及び、市道堀越新地町線として市道を認定、開

竹原市 市道忠海学園線 市道堀越新地町線開通



▲東野小学校グランド南東角へ、東野ポンプ場を整備しました。現在、ポンプ場へ流入する管渠や、ポンプ場に入った雨水を排水する管渠の敷設工事を進めています。河川で排水しきれない低地箇所の排水機能の向上を図ります。